

## あとがき

今月の特集は、東京都神経科学総合研究所の高田昌彦先生をゲストエディターとしてお迎えして、大脳基底核に関する最先端の研究をまとめていただいた。

大脳基底核は神経生理学的にはさまざまな学習や報酬に関わること、臨床的にはパーキンソン病やジストニアなどの責任部位であることなどが、教科書的な知識としてもよく知られている。しかし、今回の特集を読んでいただくと、実は古いようで新しい研究対象であることがご理解いただけるものと思う。

本特集では、パーキンソン病の薬物療法、脳深部刺激療法、遺伝子治療の最前線につき、後半にまとめていただいている。こうした最先端の治療法では、「パーキンソン病では、視床下核の活動が亢進しており、その結果、淡蒼球内節が興奮し、視床—大脳皮質に抑制的な作用を与える」といった、大脳基底核を中心とする神経回路研究の知識に基づくものが開発され、効果を上げてきていることがうかがえる。一方、特集の前半部分では、大脳基底核の構成する神経回路や、その機能の研究についてまとめていただいているが、古典的な知識が最近の神経科学研究の進歩によって書き換えられつつあることがわかる。

こうした大脳基底核基礎研究のさらなる発達、臨床研究として新たな治療の開発へとつながり、今なお、病気で苦しむ患者さんの幸せに貢献できるようになることを祈念してやまない。

未曾有の不況といわれている昨今であるが、平成 21 年度予算でも科学研究関連の予算は増額が見込まれている。社会の、われわれ研究者に対する期待をひしひしと感じるとともに、基礎研究を、単に研究のための研究として終わらせない努力、国民の血税を無駄にしない努力を、科学者は常に怠ってははいけなく強く思う。こうした中、大脳基底核の研究は、その基礎研究成果が、直接臨床研究に結びつき、医療の現場で役に立つ技術を提供できる稀有な成功例の 1 つと思う。このような基礎研究成果の出口と社会の接点、直接目に見える研究領域がますます発展し、社会に基礎研究の有用性をより広く認知していただき、大脳基底核研究が、多くの他の基礎研究の発展を先導する機関車となることを期待している。

(川島隆太)

### 編集顧問

生田 房 弘  
臺 弘  
大友 英 一  
金澤 一郎  
酒田 英 夫  
佐野 圭 司  
島津 浩  
杉田 秀 夫  
高倉 公 朋  
塚田 裕 三  
中里 洋 一  
彦坂 興 秀  
平山 恵 造  
藤澤 浩四郎  
真柳 佳 昭  
萬年 甫  
水野 美 邦  
柳澤 信 夫

### 編集委員

岩田 誠  
(編集主幹)  
石塚 典 生  
糸山 泰 人  
内山 真一郎  
梶 龍 兒  
河村 満  
高坂 新一  
作田 学  
辻 省 次  
寺本 明  
中込 忠 好  
中野 今 治  
水澤 英 洋  
(五十音順)

## BRAIN and NERVE

(第 61 巻 第 4 号)

2009 年 4 月 1 日 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 3,990 円 (本体 3,800 円 + 税 5 % (配送料実費))  
[2009 年、年ぎめ予約購読料 35,460 円・MedicalFinder パーソナルオプション付 46,100 円 (配送料弊社負担)]

E-mail: bn@igaku-shoin.co.jp  
Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(高瀬・山内・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 ㈱アイワード (011) 241-9341

広告申込所 ㈱丹水社 (03) 3561-1323

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2009, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は ㈱医学書院が保有します。
- JCLS (日本著作権管理システム委託出版物)  
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に ㈱日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。